

長崎高教組新聞

発行
〒850-0013 長崎市中央2丁目2番5号
長崎高教組会館 長崎県高等学校教職員組合
☎ (095) 827-5882
FAX (095) 826-2976
編集責任者 平井秀治
一部 10円

高教組メールアドレス
naga-kks@fs
inet.or.jp

長崎高教組は、6月26日(土)第81回定期大会を大村市民会館で開催します。昨年度のとおりくみを総括するとともに、本年度の方針を確立します。その原案は議案書として配付しているところですが、理解を深めるために馬場隆書記長に情勢の特徴や高教組のとりにくみなどを尋ねました。

○いまの教育行政(国、県)をどう見ますか。

全般的な特徴として競由主義に特徴的な考え方を争を煽る方向での施策がの反映です。多くの高校の多様化政策、教職員についても、競争がないから効率率が落ちたり、学区の拡大や小中学校で教育の質が低下すると評価で数値目標を設定し底して成績管理・プロセス管理すれば、もっと効率よく教職員を働かせることができるという観点から、教職員評価や主幹教諭などの「新しい職」の全国的な状況を掲載。

第81回高教組定期大会

すすめたい！ 長崎高教組を真ん中に 期待に応えるとりくみ

馬場書記長に聞く

○長崎高教組に対する期待にどのような答えがいきますか。

高教組に対する期待運動をすすめていくには、働きやすい職場づくり、子ども豊かな成長や「生徒参加、父母・教職員の共同の学校づくり」では、全教・日高教の仲間による全国的な経の向上を求める運動の中、高教組がはたしてきた役割に対する県民の期待など、様々な内容があると思います。

高教組はそれらの期待を一身に担って孤軍奮闘するのではなく、それぞれのかかわる多くの人たちとの共同の力で、要求の前進のために

職場全員を視野に組合員をすすめたいと思ってい全員力をあつめて運動します。

○長崎高教組の組合員に特に訴えたいことは、何ですか。

高教組は、昨年の11月と12月に各地域で全組合員集会を開催し、1月に臨時大会、2月には規約改正についての全員投票を実施。議案書の2ページにその経過を載せていますが、その目的は組合員全員で組織の現状を確認し、組織の再生にむけての動きをつくりだすことでした。このとりくみの中で、組合員みなさんには、あらためて組合の意義やあり方を考えてもらったことですね。

○組合の魅力はズバリ何ですか。

一緒に行動してくれる仲間がいるということ。人事委員会審理のとりくみが一番わかりやすい。転勤や分限処分など書の20ページに、病気休職からの復職に際して不当な分限休職処分をうけた山口秀先生の審理について記載しています。

○職場にどのような影響が出てきていますか。

教職員の間には競争もあちこちというよりは、職場の連帯を壊し教職員をバラバラにすることに



馬場書記長語る

「教育の協調性、柔軟性が失われる」「職場の協力態勢が失われる」と答えました。どちらを向いて教育の

○職場の人的なつながりが希薄になつてきたという声が県教委側にもありますが、何が必要でしょうか。

私はお酒を飲むのが好きで、飲み会や釣りに参加して、仲間と交流しています。このつながりが希薄になると、組合員同士の支え合いが弱まると思います。飲み会に限らず集まって何かを一緒にするというのが大事だと思います。

(裏面に続く)

